

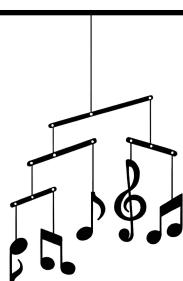
演奏会レポート

◆我孫子SE第6回定期演奏会 鑑賞日記

千葉SEそれいゆ 川野正彦

5月16日（土）好天の中、我孫子シニアアンサンブルの第6回定期演奏会が催され、会場の我孫子けやきプラザふれあいホールに出向きました。大変な盛況で、入りきれなかったお客様が気色ばむような場面もあった中、演奏が始まりました。プログラムは第1部がクラシック及びタンゴ、第2部がポピュラーで計22曲。常任指揮者 笹森先生のタクトで熱演の連続でした。第2部ではお客様と一緒に歌って頂く3曲があり、客席と舞台の一体化が最高潮に達したことが実感されました。KBを巧みに配した編曲により、弦と管のバランスが絶妙で、田園の1楽章では優しさと、のびやかさを見事に表現した演奏で聴衆を魅了し、シチリアーナではもの悲しさを絶妙な間で表現して聴く者をうならせ、バッハの重厚さをG線上のアリアで表し、出の管のリズムとハーモニーが出色であったくるみ割り人形行進曲で楽しませ、仮面舞踏会ワルツでは怪しげで蠱惑的な情景を聴かせ、管楽器の低音部をKBに担当させたフィンランディアでは、重厚な趣を余すところなく表現しました。また2部においては、高、中、低音の良くバランスのとれた演奏で聴く者を癒し、最後の6曲のポップスは力まず洒脱な味わいで演奏会を締めくくりました。

流石に千葉県下の先輩格の演奏であるわいと咲きながら、終了後の軽い興奮に包まれて帰路につきました。



◆習志野SE第1回定期演奏会

千葉SEそれいゆ 横溝 敬

習志野シニアアンサンブル第1回定期演奏会が5月27日習志野市民会館ホールで行われました。私は当日応援として会場整理などを承りましたが、主として開場時間まで入り口で皆さんをご案内させて戴きました。会場の定員は364人で、今回は整理券を事前にお渡しし、整理券のない方の入場できませんというスタイルでした。20人くらいの方に満席ですと入場をお断りせざるを得ませんでしたが、大きな混乱もなく開場開演に至りました。1部と2部はモーツアルトの「交響曲25番」などのクラシック曲とタンゴ、ムード音楽、映画音楽などの演奏の後休憩をはさんで2部ではソプラノ歌手の歌、サックス、尺八、フルート、ケーナなどの楽器のソロ演奏を楽しめていただきました。習志野シニアには芸達者な人が多いことに感服致しました。3部では「有楽町で逢いましょう」などの歌謡曲をみんなで合唱してプログラムを終了しました。アンコールの大合唱のなか、「丘を越えて」の合唱と歯切れにいい「エルチョクロ」の演奏で全てお開きとなりました。満足してお帰りになる皆さんのお顔を拝見して、習志野シニアの音楽のレベルの高さとサービス精神のこもった当日の選曲の良さを感じた次第です。

